

**IBM Unica Marketing Operations**

**バージョン 8 リリース 6**

**2012 年 5 月 25 日**

## **リリース・ノート**

**IBM**

注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、27ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Unica Marketing Operations バージョン 8 リリース 6 モディフィケーション 0 および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM Unica Marketing Operations  
Version 8 Release 6  
May 25, 2012  
Release Notes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第1刷 2012.6

© Copyright IBM Corporation 2002, 2012.

---

## 目次

|  |    |   |    |
|--|----|---|----|
| 第 1 章 システム要件および互換性 . . . . .   | 1  | 第 6 章 既知の制限 . . . . .   | 17 |
| IBM WebSphere Application Server V8.0 にはフィッ<br>クスパック 8.0.0.2 以降が必要 . . . . . | 2  | 第 7 章 IBM Unica Marketing<br>Operations Reports Package . . . . .             | 21 |
| 第 2 章 バージョン 8.6.0 の新機能および<br>変更点 . . . . .                                   | 3  | 第 8 章 IBM Unica Marketing<br>Operations-Campaign Reports<br>Package . . . . . | 23 |
| IBM Unica 製品の言語サポート . . . . .  | 5  | 第 9 章 IBM Unica 技術サポートへの連<br>絡 . . . . .                                      | 25 |
| 第 3 章 修正された障害 . . . . .  | 7  | 特記事項 . . . . .  | 27 |
| 第 4 章 既知の問題 . . . . .  | 9  | 商標 . . . . .  | 29 |
| 第 5 章 統合された Marketing<br>Operations-Campaign システムの既知の<br>問題 . . . . .        | 13 |   |    |



---

## 第 1 章 システム要件および互換性

IBM® Unica® Marketing Operationsは、IBM Unica Marketing 製品スイートの一部として動作します。

Marketing Operations バージョン 8.6.0 が動作するには、IBM Unica Marketing Platform8.6.0 が必要です。

Marketing Operations 8.6.0 へは Marketing Operations 8.5.0 からアップグレードできます。それ以前のバージョンを使用している場合は、中間のステップとして Marketing Operations 8.5.0 にアップグレードする必要があります。詳しくは、「*IBM Unica Marketing Operations インストール・ガイド*」を参照してください。

レポート作成に関しては、Marketing Operations 8.6.0 は、バージョン 8.6.0 の Marketing Operations および Marketing Operations/Campaign のレポート・パッケージを使用します。

### 完全なシステム要件と互換性情報が見つかる場所

この製品と互換性のある IBM Unica Marketing 製品バージョンのリストについては、IBM Unica 製品技術サポートの Web サイト (<http://www.unica.com/about/product-technical-support>) の「資料」の下に掲載されている「*IBM Unica Compatibility Matrix*」や他の製品互換性資料を参照してください。

この製品に対するサード・パーティー要件のリストについては、「推奨されるソフトウェア環境および最小システム要件」の資料を参照してください。このファイルは、IBM Unica 製品技術サポートの Web サイト (<http://www.unica.com/about/product-technical-support>) の「資料」の下に掲載されています。この資料には、IBM Unica Marketing にログインしているときに、「ヘルプ」>「製品資料」を選択することによってもアクセスできます。

### バージョン 8.6.0 での重要なサード・パーティー・ソフトウェア・サポートの変更

IBM Unica Marketing Operationsバージョン 8.6.0 では、以下のサード・パーティー・ソフトウェアの新規バージョンへのサポートが追加されています。

#### アプリケーション・サーバー

- WebLogic 10 MP1

#### オペレーティング・システム

- Solaris 11
- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 5.6、5.7、および 6.1
- Suse Linux Enterprise Server (SLES) 10.4 および 11.1

#### ブラウザ

- Apple Safari 4 および 5

---

## IBM WebSphere Application Server V8.0 にはフィックスパック 8.0.0.2 以降が必要

IBM WebSphere® Application Server V8.0 を使用していずれかの IBM Unica Marketing 製品を配置する計画の場合、フィックスパック 2 (バージョン 8.0.0.2 と呼ばれる) 以降を適用してセキュリティーの問題に対処する必要があります。この要件は、すべての WebSphere Application Server 8.0 パッケージに適用されます (一部の IBM Unica Marketing 製品に組み込まれているバージョンを含む)。

フィックスパック 2 以降は、以下から入手できます。

<http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27004980#ver80>

**注:** ダウンロードする前に、正しいフィックスパックをこのページで選択する必要があります。

IBM Unica Marketing 製品を配置するためにサポートされている WebSphere バージョンの追加情報については、「推奨されるソフトウェア環境および最小システム要件」のガイドを参照してください。

---

## 第 2 章 バージョン 8.6.0 の新機能および変更点

IBM Unica Marketing Operations 8.6.0 には、外出中委任、タスク確認、プロジェクト作成、およびデータの移行のための拡張機能が含まれています。IBM Unica Campaign を統合するシステムおよびオファー機能が使用可能なシステムに対しては、8.6 リリースによってオファーの編成およびインポートの拡張機能が組み込まれます。

### 外出中設定の指定

Marketing Operations ユーザーすべてが、外出中であることを表示できるようになりました。さらに、ユーザーは自分の外出中に、自分のタスク、承認、プロジェクト要求を他のユーザーに委任することができます。

チーム割り当てが適切に適用されるようにするために、管理者は代行者として選択されたユーザーが再割り当てされたタスクのチームに自動的に追加されるようにするかどうかを定義します。この定義はシステム・レベルで行われますが、プロジェクト・テンプレート・レベルでオーバーライドすることも可能です。

タスクの委任および外出中設定について詳しくは、「*IBM Unica Marketing Operations ユーザー・ガイド*」を参照してください。代行者が自動的にチームに追加されるようにするかどうかの定義について詳しくは、「*IBM Unica Marketing Operations 管理者ガイド*」を参照してください。

### 「マイ・タスクの管理」のダッシュボードへの追加

新しい Marketing Operations ポートレットである「マイ・タスクの管理」は、8.6 リリースで追加されました。ダッシュボードに追加すると、「保留中」または「アクティブ」ステータスのすべてのタスク、および「開始前」または「進行中」ステータスのすべての承認が「マイ・タスクの管理」ポートレットにリストされます。ポートレットには、各アイテムのステータスを変更するオプションも提供されます。この新規ポートレットについて詳しくは、「*IBM Unica Marketing Operations ユーザー・ガイド*」を参照してください。

### 複製によるプロジェクトの作成

新しいプロジェクト用オプションを使用することにより、ユーザーは既存の単一プロジェクトから複数の類似するプロジェクトを作成することができます。プロジェクト複製する際に、ユーザーは作成するプロジェクトの数を指定し、新規プロジェクトを保存する前に編集するフィールドを選択することができます。任意のステータスにあるプロジェクトを複製することができます。複製によるプロジェクトの作成について詳しくは、「*IBM Unica Marketing Operations ユーザー・ガイド*」を参照してください。

### サーバー間でのメタデータの移行

ある Marketing Operations システムから別の Marketing Operations システムへ効率的にデータ構造 (メタデータ) を転送するための機能が、8.6 リリースで追加されま

した。管理者は、テンプレート、セキュリティー・ポリシーおよび関連するユーザーの役割、マーケティング・オブジェクト・タイプ、およびチームのメタデータをシステム間で転送することができます。ソース・システムとターゲット・システムが使用するオペレーティング・システムおよびデータベース・サーバーのタイプは異なってもかまいませんが、両方のシステムで同じバージョンの Marketing Operations が実行されている必要があります。サーバー間でのメタデータの移行について詳しくは、「*IBM Unica Marketing Operations* 管理者ガイド」を参照してください。

## フォルダーとリストによるオファーの編成

Marketing Operations-Campaign システムでオファー統合が有効になっている場合、オファー・フォルダーとオファー・リストを使用して Campaign と同じ機能を Marketing Operations で実行できるようになりました。統合システムでは、Marketing Operations で「操作」>「オファー」を選択することにより、オファー、オファー・リスト、およびオファー・フォルダーをユーザーが作成および管理できます。

- オファー・フォルダーは、レポート作成のためにオファーをグループ化します。オファー・フォルダーをレポートのターゲットに選択すると、そのフォルダー内のすべてのオファーがレポートに含まれます。
- オファー・リストはオファーをグループ化して、複数のオファーを 1 つの TCS セルやフローチャートなどに割り当てられるようにします。オファー・リストは、静的である場合も、動的である場合もあります。

オファー・リストおよびオファー・フォルダーについて詳しくは、「*IBM Unica Campaign* ユーザー・ガイド」を参照してください。Marketing Operations と Campaign の統合を有効にすることについて詳しくは、「*IBM Unica Marketing Operations and Campaign* 統合ガイド」を参照してください。

## Campaign からオファーをインポート

Marketing Operations では、オファー統合を有効にしたときに、すべてのオファー・メタデータ (テンプレート、属性、オファー・リスト、およびオファー・フォルダーを含む) およびオファー・データを Campaign からインポートするユーティリティが利用できるようになりました。

Campaign からのオファーのインポートについて詳しくは、「*IBM Unica Marketing Operations and Campaign* 統合ガイド」を参照してください。

## 完全なシステム要件と互換性情報が見つかる場所

この製品と互換性のある IBM Unica Marketing 製品バージョンのリストについては、IBM Unica 製品技術サポートの Web サイト (<http://www.unica.com/about/product-technical-support>) の「資料」の下に掲載されている「*IBM Unica Compatibility Matrix*」や他の製品互換性資料を参照してください。

この製品に対するサード・パーティー要件のリストについては、「推奨されるソフトウェア環境および最小システム要件」の資料を参照してください。このファイルは、IBM Unica 製品技術サポートの Web サイト (<http://www.unica.com/about/product-technical-support>) の「資料」の下に掲載されています。この資料には、IBM

Unica Marketing にログインしているときに、「ヘルプ」>「製品資料」を選択することによってもアクセスできます。

---

## IBM Unica 製品の言語サポート

この IBM Unica リリースでは、ほとんどすべての製品資料およびプロダクト・ユーザー・インターフェースが、以下の言語で使用可能です。

- ブラジル・ポルトガル語
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- 中国語 (簡体字) (GB18030 要件への準拠を含む)
- スペイン語

ご使用の IBM Unica 製品内でのロケール設定について詳しくは、「*IBM Unica Marketing Platform* 管理者ガイド」を参照してください。

**注:** 「ヘルプ」メニューを使用してオンライン・ヘルプおよび他のドキュメントを開くと、ロケール設定が使用されて、使用可能な場合には対応する言語のドキュメントが自動的に表示されます。



## 第 3 章 修正された障害

IBM Unica Marketing Operationsバージョン 8.6.0 では、以下の障害が修正されています。

表 1. Marketing Operations バージョン 8.6.0 で修正された障害

| 問題 ID     | 説明   |
|-----------|--|
| DEF060265 | マーケティング・オブジェクトの名前にアポストロフィ (') 文字を使用しても、エラーにならなくなりました。  |
| DEF060567 | 「資産説明 (asset description)」フィールドに 1024 文字まで入力できるようになりました。   |
| DEF060622 | プロジェクト作成中に、ユーザーが文書ライブラリーから添付ファイルを追加できるようになりました。  |
| DEF061074 | プロジェクト要求の作成中に表示されるすべてのページで、タイトルに「要求の追加」が含まれるようになりました。  |
| DEF061277 | 共有単一選択属性を含むフォームが Marketing Operations に正常にインポートされるようになりました。  |
| DEF061379 | プロジェクト承認の最終変更日付が NULL であっても、エラーが発生しなくなりました。  |
| DEF061745 | 単一選択属性を処理する際に、「デフォルト値」ドロップダウンに 60 文字まで表示されるようになりました。マウスオーバーすると、60 文字より長い値の完全なストリングをツールチップとして表示することができます。   |
| DEF062099 | 単一選択属性の最大長が 200 文字になりました。カスタム・オファー単一選択属性の場合、最大長は 1024 文字です。  |
| VER00885  | 親フィールドにデフォルト選択が指定されている場合に、従属フィールドの値のリストが正しく表示されるようになりました。  |
| VER00886  | 特定のディレクトリー・サービスおよびログイン・サービスを使用するシステムで、電子メール・アラート内のリンクにしたがって Marketing Operations にログインした場合に、セキュリティ上の問題が生じていました。ユーザーが一度システムからログアウトしても、次は認証なしで Marketing Operations にアクセスできていました。このようなログアウト後の非認証セッションはできなくなりました。   |
| VER00887  | 検索基準が、メモリー内のフィルター処理を使用せず、データベース照会にマップされるようになり、パフォーマンスが向上しました。  |
| VER00888  | 以前は、&、>、または < 文字を含む Adobe Acrobat マークアップ・コメントはどれもシステムに保存されませんでした。この問題を解決するために、新しい JavaScript ソース・コード・ファイルが使用可能になりました。Adobe Acrobat マークアップを使用するインストール済み環境で、既存の sdkSOAPCollabSample.js ファイルを新しい UMO_Markup_Collaboration.js ファイルに置き換えて、各クライアント・コンピューターをアップグレードしてください。<br><br>このファイルのインストールについて詳しくは、「IBM Unica Marketing Operations インストール・ガイド」を参照してください。 |
| VER00889  | updateAttributes() API 呼び出しには、プロジェクト・コード属性の変更を妨げる検証が含まれていました。この検証は実行されなくなりました。   |



## 第 4 章 既知の問題

以下の表には、IBM Unica Marketing Operationsバージョン 8.6.0 の既知の問題が示されています。

表 2. Marketing Operations バージョン 8.6.0 の既知の問題

| 問題                                       | 問題 ID                  | 説明   |
|--|------------------------|--|
| サブグループ認証                                 | DEF022909、<br>INC20721 | IBM Unica Marketing Platform で「管理」サブグループを作成しても、そのサブグループのユーザーが自動的に Marketing Operations管理者として追加されるわけではありません。このサブグループに「管理」アクセス権限を明確に付与する必要があります。   |
| レスポンス履歴にマッピングされたレガシー・メトリックに、削除された値が保持される | DEF046008、<br>INC55503 | レスポンス履歴テーブルを Campaign でクリアしても、レスポンス履歴テーブルにマッピングされた Marketing Operations 内のすべてのメトリックに、削除された値が保持されます。  |
| 誤ったデータベースおよびポート情報がインストーラー画面に設定される        | DEF060953              | バージョン 8.6 へのアップグレード時に、Marketing Platform および Marketing Operations のインストール画面に表示されるデフォルト値が無効です。この問題は、8.6 リリースで追加された変数が原因で生じています。<br><br>回避策として、次の値を使用することができます。<br><br>-DUNICA_REPLAY_DIR="D:¥unica¥qa¥plan85¥UM085_310ct¥installers"<br><br>または、installer.properties を編集して次の値を追加します。<br><br>UNICA_REPLAY_DIR=D:¥¥unica¥¥qa¥¥plan85¥¥UM085_310ct¥¥installers   |
| アップグレード後のサーバーの問題                         | DEF063700              | バージョン 8.6 へのアップグレード後に、Internet Explorer ブラウザーで特定のユーザー・インターフェース・コントロールのレンダリングが正しくなくなる場合があります。この問題には、次のようなものがあります。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>「このプロジェクトを複製します」、「フォルダーの名前変更」、「オファー・リストの追加」のアイコンが表示されない</li> <li>フォームの共有属性にアクセスできない</li> <li>オファー・フォルダーを移動できない</li> </ul> これらの問題を解決するには、Internet Explorer の個人設定をリセットします。<br><ol style="list-style-type: none"> <li>Internet Explorer で、「ツール」&gt;「インターネット オプション」を選択します。</li> <li>「詳細設定」タブをクリックします。</li> <li>「リセット」をクリックします。</li> <li>「個人設定を削除する」を選択してから、「リセット」をクリックします。</li> <li>Internet Explorer を再始動します。</li> </ol> |

表 2. Marketing Operations バージョン 8.6.0 の既知の問題 (続き)

| 問題   | 問題 ID                | 説明  |
|--|----------------------|---|
| 外出中委任が開始準備完了タスクに適用されない                       | DEF061374            | Marketing Operations ユーザーは、ユーザー・アクティビティの代行者の指定を含む、外出中設定を定義できるようになりました。あるタスクの従属関係にあるものすべてが「終了」または「スキップ」の状態にあるとき、そのタスクは「開始準備完了」になっています。開始準備完了になった時点で外出中のユーザーに割り当てられているタスクは、自動的に代行者に再割り当てされます。ただし、開始準備完了であるタスクが手動で外出中のユーザーに割り当てられた場合は、代行者に自動的に再割り当てされません。          |
| プロジェクト詳細検索のサポートされないオペランド                     | DEF061734 / DOC00615 | 「プロジェクト」リスト・ページで、「1 つ選択 - データベース」属性または「複数を選択 - データベース」属性に関する詳細検索を実行すると、エラーになる場合があります。属性がルックアップ・テーブルに bigInt 型の「ID」または「表示」列を持つと、エラーになります。  |
| 「自分のタスク」ポートレットをロード中に例外が発生する                  | DEF061982 / DOC00616 | 多数のタスクを割り当てられたユーザーが、「自分のタスク」ポートレットおよび他の複数のポートレットが含まれたダッシュボードを表示すると、エラーが発生する場合があります。   |
| セキュリティー・インポート後に、役割の順序が変わる                    | DEF062118            | セキュリティー・メタデータを一度エクスポートしてから同じシステムにインポートすると、役割の順序は変わります。  |
| 同じ外出中代行者を持つ複数のレビュー担当者に承認が送信された場合             | DEF062180 / DOC00624 | 複数のユーザーが同一の個人を外出中の承認代行者として委任すると、予期しない状況が起きる可能性があります。それらのユーザーすべてが外出中であり、それらのユーザーに承認が送信された場合、その承認は最初の外出中ユーザーの場合のみ委任されます。それ以外の外出中ユーザーについては、委任が失敗し、メッセージ「委任されたユーザーは既に承認のレビューアです」が表示されます。  |
| 承認に使用するユーザー・インターフェース・コントロールによって、プロンプトの処理も異なる | DEF062770 / DOC00641 | 「承認を編集/再送信する場合、承認の所有者が、再承認する必要があるレビューアを選択します」ルールを使用する承認がレビュー担当者によって拒否され、ワークフローを経由して再送信されると、システムは予期したとおりにレビュー担当者に対してプロンプトを出します。しかし、ページの右側にあるタスク・ペインによって承認が再送信されると、システムはプロンプトを出さずに直ちに承認をすべてのレビュー担当者に再送信します。   |
| プログラム・メトリック・テンプレートでロールアップ・メトリックの例外エラーが発生する   | DEF044430 / DOC00335 | メトリック・グループが何も定義されておらず、「ロールアップ」を選択したメトリックがプログラム・メトリック・テンプレートに直接追加されると、エラーが発生します。このエラーを回避するには、次のいずれかを行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>該当するプログラム・テンプレート用のメトリック・グループを作成する。</li> <li>メトリックに「ロールアップ」を選択することに加えて、ROLLUP 統合機能を含む式をメトリックに対して定義する。</li> </ul> |

表 2. Marketing Operations バージョン 8.6.0 の既知の問題 (続き)

| 問題                | 問題 ID     | 説明  |
|-------------------|-----------|---|
| データの移行のためのインポート順序 | DEF063701 | <p>データの移行のためのインポート順序:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. マーケティング・オブジェクト・タイプ           <p>マーケティング・オブジェクト・タイプが最初にインポートされます。その結果、テンプレートがインポートされるときに、マーケティング・オブジェクト・テンプレートもインポートされます。</p> </li> <li>2. テンプレート           <p><b>注:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• システム内にないセキュリティー・ポリシーを使用するテンプレートには、インポート時にグローバル・セキュリティー・ポリシーが割り当てられます。</li> </ul> <p>インポート後に、必要に応じてインポートされたテンプレートのセキュリティー・ポリシーを手動で更新するか、またはテンプレートを再インポートすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• システム内にないユーザーに関する定義済みルールを使用するテンプレートは、インポートされません。</li> <li>• システム内にないルール・ビルダーのチームに関する定義済みルールを使用するテンプレートは、インポートされますが、機能しません。</li> </ul> <p>インポート後に、ルールを手動で変更するか、またはテンプレートを再インポートすることができます。</p> </li> <li>3. セキュリティー・ポリシー           <p><b>注:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• システム内にないチームおよびユーザーは、限定リソース内では更新されません。</li> <li>• テンプレートにはデフォルトのセキュリティー・ポリシーが割り当てられます。</li> </ul> </li> <li>4. チーム           <p>インポート後に、チームおよびセキュリティー・ポリシーに関するルールを変更して、チームが限定リソース機能の下で使用されるようにすることができます。</p> </li> </ol> |



## 第 5 章 統合された Marketing Operations-Campaign システムの既知の問題

以下の表には、バージョン 8.6.0 で Campaign と統合された IBM Unica Marketing Operations システムに影響する既知の問題が示されています。

表 3. 統合された Marketing Operations-Campaign バージョン 8.6.0 の既知の問題

| 問題  | 問題 ID                   | 説明   |
|---|-------------------------|--|
| バージョン 8.5 でオファー統合が有効にされたインストール済み環境で、チャンネル属性とチャンネル・タイプ属性を指定してテンプレートを公開すると、それらの属性の値すべてが Campaign で削除される | DEF063702               | この問題は、バージョン 8.5 でオファー統合が有効にされた、Marketing Operations-Campaign 統合システムに影響します。8.6 へのアップグレード後は、チャンネル属性とチャンネル・タイプ属性を指定してテンプレートを公開すると、Campaign に存在するそれらの属性のすべての値がデータベース属性テーブルから削除されます。このようなインポートが生じた後に、削除された値を手動で追加して元に戻す必要があります。Campaign で「管理セクション (Admin Section)」の「属性設定 (Attribute Settings)」リンクを使用するか、または Marketing Operations のフォーム・エディターを使用して再公開します。  |
| 統合された Campaign-Marketing Operations 予算コストでは四半期データしか表示されない   | DEF054904、<br>DEF055000 | この問題は、Marketing Operations 8.2.0 リリースで財務計画モジュールに対して行われたデータベース設計の変更が原因で生じます。「Campaign・オファーの収支比較」を手動で変更するには (レポート・アップグレードの場合)、次のようにします。<br>1. Report Studio でレポートを開きます。<br>2. 「レポート照会 (Report Query)」を編集します。<br>3. 「オファー別の Campaign・プロジェクト」>「Campaign・プロジェクト」>「予算合計」から取得する「予算合計」照会項目定義を編集します。<br>4. 集計を「合計/なし (Total/None)」に変更します。<br>5. 「オファー別 Campaign・プロジェクト」>「Campaign・プロジェクト」>「確定した合計」から取得する「確定した合計」照会項目を (「レポート」照会で) 編集します。<br>6. 集計を「合計/なし (Total/None)」に変更します。 |
| オファー・インポート後に、通貨属性の精度が変わることがある   | DEF060846               | 通貨属性を含むオファー・テンプレートをインポートすると、その属性の精度はサーバーの通貨ロケールに基づいてリセットされます。例えば、精度が 2 以外である属性を通貨ロケールが en_US であるサーバーにインポートすると、その属性の精度は Marketing Operations で 2 に設定されます。   |
| フォルダー・アクセス権が拒否されると、公開済みフォルダーの処理中にエラーが発生する   | DEF060881、<br>DEF060882 | Campaign セキュリティー・ポリシーがある役割の「フォルダーの編集」または「フォルダーの移動」アクセス権を拒否すると、その役割を持つユーザーが Marketing Operations の公開済みフォルダーを編集または移動しようとしたときにエラーが発生します。  |

表 3. 統合された Marketing Operations-Campaign バージョン 8.6.0 の既知の問題 (続き)

| 問題  | 問題 ID                   | 説明   |
|---|-------------------------|--|
| 「書き直し (Redraft)」状態のオファーを移動中に、アプリケーションが宛先フォルダーの公開を確認する       | DEF060940               | Marketing Operations にオファー・フォルダーが作成されてはいても公開されていない場合、ユーザーが公開済みのオファーをそのフォルダーに移動すると、システムはそのフォルダーを公開するようプロンプトを出します。「書き直し (Redraft)」状態のオファーを非公開フォルダーに移動した場合にも、このプロンプトが表示されません。しかし、「ドラフト」状態のオファーを非公開フォルダーに移動した場合には、このプロンプトは表示されません。<br><br>注: 「書き直し (Redraft)」状態のオファーは以前に Campaign に公開されているため、非公開オファー・リストに対して公開済みオファーと同じ作用を及ぼします。 |
| オファー・インスタンスが作成された後でも、フォームの編集が可能である                          | DEF061105               | オファー・テンプレートにフォームを追加し、そのテンプレートを使用してオファーを作成すると、フォームを編集できないというメッセージが表示されます。しかし、この制限はフォームの特定のパラメーターにのみ適用されます。具体的には、属性の追加または削除、オプション、名前、説明、およびデフォルト値の編集は行えなくなります。   |
| Marketing Operations の表示モードで、スマート・オファー・リストにクエリー・ビルダーが表示されない | ENH11486                | Campaign では、クエリー・ビルダーはオファー・リスト・サマリーに表示されます。Marketing Operations では、クエリー・ビルダーは編集モードでのみ表示され、表示モードでは表示されません。  |
| スマート・オファー・リストを公開しても、ドラフト・オファーが公開されない                        | DEF061212 /<br>DOC00592 | クエリーを使用して非公開のスマート・オファー・リストにデータを設定していて、その中に含まれているいずれかのオファーの状態が「ドラフト」に変更されると、そのオファー・リストが公開されるときに、「ドラフト」状態のオファーも公開されません。<br><br>注: クエリーを使用するオファー・リストは、含めるオファーを Campaign 内からだけ検索します。このクエリーは、公開されていないオファーを Marketing Operations 内では検索しません。その結果、オファー・リストを公開してもオファーは公開されません。  |
| フォルダーを別のパーティションに公開しようとすると例外が発生する                            | DEF061274               | ある Marketing Operations ユーザーによってパーティション内に作成されたオファー・フォルダーが、そのパーティションに対する権限を持たない別のユーザーによって Campaign に公開されると、エラーになります。  |
| オファーおよびオファー・リストをインポートするユーザーがその所有者になる                        | DEF061262               | オファー・データおよびメタデータを Campaign からインポートすると、インポートを実行したユーザーが Marketing Operations でオファーおよびオファー・リストの所有者になります。  |
| オファー保存検索を Marketing Operations ホーム・ページに設定する場合の例外            | DEF061337 /<br>DOC00595 | オファーの保存検索では、ディレクトリー・レベルに移動してから、結果のページをホーム・ページに設定することができます。しかし、ログインするたびに、ホーム・ページには選択した特定のサブディレクトリーではなくルート・ディレクトリーの検索結果が表示されます。  |
| オファー・テンプレートのステータスがテンプレートのインポートに含まれない                        | DEF061371               | オファー・テンプレートを Marketing Operations にインポートするとき、テンプレートのステータスはインポートされません。結果として、Campaign で回収されたテンプレートは、オファーの作成に使用可能になります。   |

表 3. 統合された Marketing Operations-Campaign バージョン 8.6.0 の既知の問題 (続き)

| 問題  | 問題 ID                   | 説明  |
|---|-------------------------|---|
| 有効期限が発効日より前であるかの編集検査が行われない                          | DEF061838               | 標準オファー属性を持つオファー・テンプレートを作成して有効期限と発効日を設定する場合、Marketing Operations は発効日が発効期限よりも前であることを確認しません。  |
| Marketing Operations はオファーの関連製品情報を表示しない             | DEF062333               | オファー・データとメタデータを Marketing Operations にインポートすると、オファーは Campaign で関連付けられている「関連製品」を表示しません。  |
| 基になるテンプレートおよびフォームが変更されても公開されていない場合、オファーを公開することができない | DEF062814 /<br>DOC00642 | 既に使用中のオファー属性のデフォルト値を変更する場合は、属性が使用されているフォームとそのフォームが含まれるオファー・テンプレートの両方を公開する必要があります。そうしないと、ユーザーがテンプレートからオファーを作成して、そのオファーを公開しようとした時に、エラーが発生します。   |
| オファー・フォルダーの再インポートの問題                                | DEF062944               | ネットワークや他の問題のために Campaign から Marketing Operations へのオファー・データおよびメタデータのインポートが中断した場合、インポート処理を再開することができます。しかし、オファー・フォルダーのインポート中に障害が発生した場合は、エラーメッセージ "FOLDER_WITH_SAME_NAME_ALREADY_PRESENT" が表示されます。 |
| 削除したフォルダーが引き続き表示されることがある                            | DEF063069               | 階層オファー・フォルダーのセットのルート・フォルダーが削除されると、そのフォルダーとその内容はデータベースから削除されます。しかし、ブラウザーのキャッシングのためにそのフォルダーがユーザー・インターフェースに引き続き表示されることがあり、ユーザーがそのフォルダーをクリックして選択するとエラーが発生します。                                       |



## 第 6 章 既知の制限

以下の表には、IBM Unica Marketing Operationsバージョン 8.6.0 の既知の制限が示されています。

表 4. Marketing Operations バージョン 8.6.0 の既知の制限

| 問題  | 問題 ID     | 説明   |
|---|-----------|--|
| ユーザーは英語以外の言語のマーケティング・オブジェクトを追加することができない                             | DEF057079 | Marketing Operations では、マーケティング・オブジェクト・タイプ名にマルチバイト文字は許可されていません。  |
| フォーム名、フォーム属性名、またはテーブル名のフィールドに英語以外の文字が使用されたフォームまたはテンプレートを追加することができない | DEF057100 | 英語以外の文字を使用したフォームおよびテンプレートのフィールドは保存できません。   |
| プロジェクトがキャンセルされても、プロジェクトの入力が完了していても、ユーザーはタスク・ペインを使用して「要約」タブを編集できる    | DEF057121 | ページの右側でタスク・ペインがオープンしている状態で、「サマリー」タブでプロジェクトをキャンセルしたり、プロジェクトの入力を完了したりした場合は、プロジェクトがアクティブではなくても、引き続きタスク・ペインでプロジェクト・フォームを編集することができます。   |
| SSOR/MSOR 属性を追加するとき、「マーケティング・オブジェクト・タイプ」ドロップダウンでオファーを選択できない         | DEF059340 | Marketing Operations バージョン 8.5 には、Campaign のオファー管理との統合に使用可能なデフォルトのマーケティング・オブジェクト「Offers」(uap_sys_default_offer_comp_type) があります。マーケティング・オブジェクト・タイプ「Offers」を参照する単一選択オブジェクト参照属性が自動作成オプションによって作成されたものである場合、自動作成されるオファーにはいくつかの重要なフィールド (キャンペーン・オファー・コードなど) が生成されないため、問題となります。このようなことに起因する問題を回避するために、SSOR 属性と MSOR 属性には「Offers」の参照が許可されていません。SSOR 属性または MSOR 属性を追加する場合に、「マーケティング・オブジェクト・タイプ」ドロップダウンで「Offers」は選択できません。 |
| テンプレート ID には ASCII 名しか許可されない  | DEF057394 | Template_id はテンプレートの内部名であり、スペースや特殊文字を除く、英数字のみ指定できます。「ワークフロー・テンプレート名」、「アイコン名」、「ルール名」、またはデータ・マッピング・ファイル名にローカライズされた (非 ASCII の) 文字を入力することはできません。  |

表 4. Marketing Operations バージョン 8.6.0 の既知の制限 (続き)

| 問題  | 問題 ID                   | 説明   |
|---|-------------------------|--|
| レガシー・メトリック・テンプレートが新規テンプレートにマッピングされると、プライマリー・キー違反になる | DEF057563               | Marketing Operations バージョン 8.5.0 で、外部メトリック・エディターがアプリケーション内に移動しました。バージョン 8.5.0 で作成されたメトリック・テンプレートには、タイプ (計画、プログラム、またはプロジェクトに対応する) を指定する必要があります。Marketing Operations には、バージョン 8.5.0 より前に作成された計画テンプレート、プログラム・テンプレート、またはプロジェクト・テンプレートに使用できるようにレガシー・メトリック・テンプレートが保持されていますが、新しいオブジェクト・テンプレートにはこのタイプ情報がないため、これらのレガシー・メトリック・テンプレートを新しいオブジェクト・テンプレートに使用することはできません。新規の計画テンプレート、プログラム・テンプレート、またはプロジェクト・テンプレートを作成する場合は、同じタイプを持つメトリック・テンプレートを選択する必要があります。新しいオブジェクト・テンプレート内でレガシー・メトリック・テンプレートを使用する必要がある場合は、新しい内部メトリック構成機能を使用してレガシー・メトリック・テンプレートを再作成しなければなりません。 |
| グリッド上のデフォルト日付が必ずしも正しくローカライズされない                     | DEF057605、<br>DEF040170 | グリッドの日付選択コントロールは非英語ロケール用にローカライズされないため、一部の非英語言語ロケール (日本語など) の場合、グリッド日付属性のデフォルト値は必ずしもデータ設定されません。   |
| 未応答のレビュー担当者は、右側のタスク・ペインからの「保留中」承認を続行できない            | DEF057650               | レビュー担当者が「保留中」状態の承認に回答していない場合は、右側のタスク・ペインを使用してその承認を続行することができません。タスク・ペインには承認のために「承認」、「変更して承認」、および「拒否」ボタンが表示されますが、「続行」および「キャンセル」ボタンは表示されません。一方、既に承認に回答した承認者は右側のペインから続行できます。<br><br>右側のペインのボタンはユーザーの役割 (承認者または承認の所有者) に基づいて決定されるため、このシナリオのようになります。承認者と所有者が同一ユーザーである場合は、承認者のアクションが優先されます。   |
| 計算メトリックの式は英語でなければならない                               | DEF057660               | メトリック・テンプレートにメトリックを追加する場合、ユーザーはメトリックを「計画」または「ロールアップ」として指定できます。「式によって計算済み」フィールドに式を入力する場合、その式は英語でなければなりません。ROLLUP の代わりに翻訳された文字列を入力すると、エラーが発生します。   |
| メトリック式が検証されない                                       | DEF057726               | メトリックに無効な式が指定されると、メトリックを使用するオブジェクト・インスタンスの「トラッキング」タブに入力した値が Marketing Operations によってファイナライズされるときに、例外エラーとなります。有効な演算子とオペランドについては、製品資料を参照してください。   |
| オファー・テンプレートのインポートに関する制限                             | DEF059793               | 次の場合、オファー・テンプレートはインポートされません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 同じ ID のオファー・テンプレートが存在する。</li> <li>• 同じ ID のオファー・テンプレートが以前に公開されて削除されている。</li> <li>• 同じ名前のフォームがオファー・テンプレートに使用されている。</li> </ul>   |

表 4. Marketing Operations バージョン 8.6.0 の既知の制限 (続き)

| 問題   | 問題 ID     | 説明  |
|--|-----------|---|
| コメントが定義された上限を超えると例外になる                         | DEF062980 | データベースによって課された上限を超えるテキスト文字列をフィールドに入力すると、データベース例外が発生します。例えば、DB2® データベースを使用するシステムで、1,048,576 より長いプロジェクト記述を保存しようとする、エラーになります。これはデータベース・サーバーによって課される制限です。 |
| Safari ブラウザーがデータ移行ファイルを直接ダウンロード・フォルダーにダウンロードする | DEF063699 | Safari ブラウザーで Marketing Operations を使用中にデータ移行のインポートを実行すると、宛先フォルダーを指定するプロンプトは出されません。インポートされるファイルは、Safari でダウンロード用に指定されたフォルダーに直接ダウンロードされます。             |



---

## 第 7 章 IBM Unica Marketing Operations Reports Package

### IBM Unica Marketing Operations Reports Package について

IBM Unica Marketing Operations Reports Package は、IBM Cognos® モデル、IBM Cognos レポート一式、および IBM Cognos レポート・ポートレット一式を提供します。

提供されているレポートの仕様ドキュメントは、Reports Package とともに ReportsPackMarketingOperations/cognos<version>/docs/ パスに自動的にインストールされます。

Marketing Operations Reports Package がインストールされた後に、以下のオブジェクト間レポートにアクセスするには、「分析」>「操作の分析」をクリックしてください。

- マーケティング活動レポート
- 期限超過マイルストーン・レポート
- プログラム・タスクおよびマイルストーン
- プロジェクトのオンタイム分析
- プロジェクト実績クロス集計 (カスタム)
- プロジェクト実績サマリー
- プロジェクト実績サマリー (カスタム)
- プロジェクト・タスク
- リソース・タスク・ロード
- リソース使用状況サマリー
- システム・プログラム
- システム・プロジェクト
- システム・ユーザー
- タスクのオンタイム分析
- ベンダー支出サマリー

単一オブジェクト・レポートにアクセスするには、オブジェクト名をクリックしてから、「分析」タブの「レポート・タイプ」リストを使用します。「分析」タブで選択可能な単一オブジェクト・レポートは、以下のとおりです。

#### 計画用:

- 四半期別の予算サマリー

#### プログラム用:

- 四半期別の予算サマリー
- 請求書サマリー・リスト

#### プロジェクト用:

- 四半期別の予算サマリー
- 承認応答
- 請求書サマリー・リスト
- マーケティング・オブジェクト相互参照
- 承認およびコンプライアンスのリスト
- 四半期別の予算サマリー
- 詳細な経費の内訳

#### チーム用:

- チームに割り当てられた業務
- チーム・メンバーに割り当てられた業務

管理者は、「設定」>「ダッシュボード・ポートレット」をクリックすることにより、ポートレットを確認して有効にすることができます。「ダッシュボード」タブで、ユーザーはダッシュボードを作成し、それにレポート・ポートレットを追加できます。

- 自分の承認サマリー
- マイ・タスク・サマリー
- プロジェクト・タイプ別の予算
- 四半期別の完了プロジェクト
- プロジェクト・タイプ別の予測
- マーケティング財務状態
- 要請されたプロジェクトと完了したプロジェクト
- プロジェクト・タイプ別の支出
- マネージャー承認サマリー
- プロジェクト・タイプ別のプロジェクト
- ステータス別のプロジェクト
- マネージャー・タスク・サマリー
- 自分のタスク
- 承認待ち操作
- 自分のアクティブ・プロジェクト
- 自分の要求
- 自分のアラート
- 予算超過プロジェクト
- マイ・タスクの管理

#### 新機能および変更点

「マーケティング活動レポート」オブジェクト間レポートおよび「マイ・タスクの管理」レポート・ポートレットが、本リリースの新機能です。

#### 既知の問題

本リリースに既知の問題はありません。

## 第 8 章 IBM Unica Marketing Operations-Campaign Reports Package

### IBM Unica Marketing Operations-Campaign Reports Package について

IBM Unica Marketing Operations-Campaign Reports Package は、Marketing Operations と Campaign の両方からの情報を結合するレポート一式を提供します。このパッケージのレポートは、Campaign システム・テーブルからデータを取得します。これらのレポートを使用するには、Marketing Operations-Campaign統合を有効にし、IBM Unica Campaign Reports Package と IBM Unica Marketing Operations Reports Package の両方をインストールする必要があります。

提供されているレポートの仕様ドキュメントは、この Reports Package とともに ReportsPackCampaignMarketingOperations/cognos<version>/docs/パスに自動的にインストールされます。

この Reports Package には、以下の IBM Cognos レポートが含まれています。

- キャンペーン・セルの収支比較
- キャンペーン・オファーの収支比較
- チャンネル別のキャンペーン・オファーの収支比較

これらのレポートは、「分析」>「操作の分析」をクリックすることによってオブジェクト間レポートとして実行することも、プロジェクト名をクリックしてから「分析」タブにある「レポート・タイプ」リストを使用することによって単一オブジェクトのプロジェクト・レポートとして実行することもできます。

### 新機能および変更点

このリリースの IBM Cognos レポートに新機能および変更点はありません。

### 既知の問題

表 5. IBM Unica Marketing Operations-Campaign Reports Package の既知の問題

| 問題   | 問題 ID     | 説明  |
|--|-----------|---|
| キャンペーンに属性が指定されていないオファーが割り当てられている場合、「キャンペーン・オファーの収支比較」レポートが空白で表示される | DEF046423 | キャンペーン・プロジェクトのリンクされたキャンペーンに、オファー属性を持たないオファーに割り当てられたセルで構成されたフローチャートが含まれている場合、レポートは空白で表示されます。このレポートを正しく表示するには、セルに割り当てられたオファーに以下の属性が含まれていなければなりません。 <ul style="list-style-type: none"><li>• オファーの固定費</li><li>• オファー調達費</li><li>• レスポンス収益</li></ul> |



---

## 第 9 章 IBM Unica 技術サポートへの連絡

ドキュメンテーションを参照しても解決できない問題があるなら、指定されているサポート窓口を通じて IBM Unica 技術サポートに電話することができます。このセクションの情報を使用するなら、首尾よく効率的に問題を解決することができます。

サポート窓口が指定されていない場合は、IBM Unica 管理者にお問い合わせください。

### 収集する情報

IBM Unica 技術サポートに連絡する前に、以下の情報を収集しておいてください。

- 問題の性質の要旨。
- 問題発生時に表示されるエラー・メッセージの詳細な記録。
- 問題を再現するための詳しい手順。
- 関連するログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル。
- 「システム情報」の説明に従って入手した、製品およびシステム環境に関する情報。

### システム情報

IBM Unica 技術サポートに電話すると、実際の環境に関する情報について尋ねられることがあります。

問題が発生してもログインは可能である場合、情報の大部分は「バージョン情報」ページで入手できます。そのページには、インストールされている IBM Unica のアプリケーションに関する情報が表示されます。

「バージョン情報」ページは、「ヘルプ」>「バージョン情報」を選択することにより表示できます。「バージョン情報」ページを表示できない場合、どの IBM Unica アプリケーションについても、そのインストール・ディレクトリの下にある `version.txt` ファイルを表示することにより、各アプリケーションのバージョン番号を入手できます。

### IBM Unica 技術サポートの連絡先情報

IBM Unica 技術サポートとの連絡を取る方法については、IBM Unica 製品技術サポートの Web サイト (<http://www.unica.com/about/product-technical-support.htm>) を参照してください。



---

## 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510  
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
法務・知的財産  
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation  
170 Tracer Lane  
Waltham, MA 02451  
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

できます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

---

## 商標

IBM、IBM ロゴ、および [ibm.com](http://ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、『[www.ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml)』をご覧ください。







Printed in Japan